

福島西道路について

一般国道13号

福島西道路



一般国道13号福島西道路は、福島市の新しい都市軸として、福島都市圏の交通をスムーズにし、活力ある地域づくりを実現するために計画された道路です。

- 福島西道路（Ⅰ期）：福島市大森～福島市南矢野目 L=7.7 km
昭和57年度 事業着手
平成21年度 全線4車線供用
- 福島西道路（Ⅱ期）：福島市松川町浅川～福島市大森 L=6.3 km
平成24年度 事業着手

Ⅰ期区間（4車線供用済）

道路種別	第4種第1級	
車線数	4車線	
設計速度	V=60 km/h	

(単位：mm)

Ⅱ期区間（事業中）

道路種別	第3種第1級 (一部第4種第1級)	
車線数	4車線	
設計速度	V=80 km/h (第4種第1級区間はV=60 km/h)	

(単位：mm)

Ⅱ期事業に着手するまでの経緯

●福島西道路（Ⅰ期）

- 昭和42年度：都市計画決定
- 昭和57年度：都市計画（変更）決定、事業着手
- 昭和59年度：用地着手
- 昭和62年度：工事着手
- 平成9年度：福島市吉倉～同市南矢野目間（L=6.4 km） 2車線供用
- 平成9年度：事業延伸（福島市大森～同市吉倉間：L=1.3 km）
- 平成21年度：福島市大森～同市南矢野目間（L=7.7 km） 4車線供用

●福島西道路（Ⅱ期）

- 平成23年度：都市計画（変更）決定
- 平成24年度：事業着手
- 平成26年度：用地着手
- 平成28年度：工事着手

Ⅱ期区間と並行する一般国道4号の問題

渋滞 一般国道4号に交通が集中し渋滞が発生！

- 福島都市圏南部を南北方向に縦断する幹線道路は一般国道4号のみであり、交通の集中により速度が低下し渋滞が発生しています。
- 福島市街地から第三次救急医療機関である福島県立医科大学附属病院へは渋滞区間を通過しなければならず救急搬送に支障をきたしています。



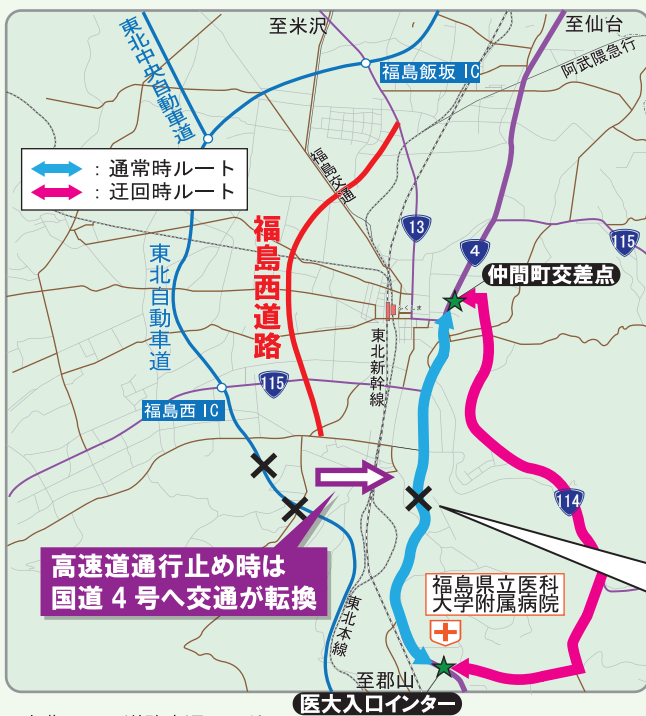
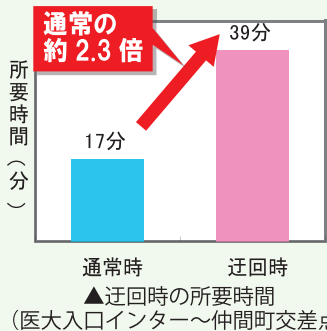
事故 福島市内での交通事故が多発！

- 福島市内での交通事故が多発しており、中でも交通が集中する一般国道4号は事故多発箇所が集中しています。
- 特に伏拝交差点～黒岩交差点間は急勾配区間であるため、渋滞が発生しやすく事故の誘発を招いています。



災害 災害発生時の代替路の不足！

- 2011.3.11 東日本大震災により、福島市南部の一般国道4号（福島市伏拝地区）で土砂崩落が発生しました。
- 7日間の全面通行止め及び40日間の片側1車線対面通行により、市民生活に多大な影響を与えました。



また、冬になると東北自動車道が通行止めとなることが多く、通行止め時には一般国道4号へ交通が流入し、交通混雑が著しくなります。



土砂災害発生箇所（福島市伏拝地区）
通行止め期間：H23.3.11～3.18
片側1車線通行期間：3.18～4.27

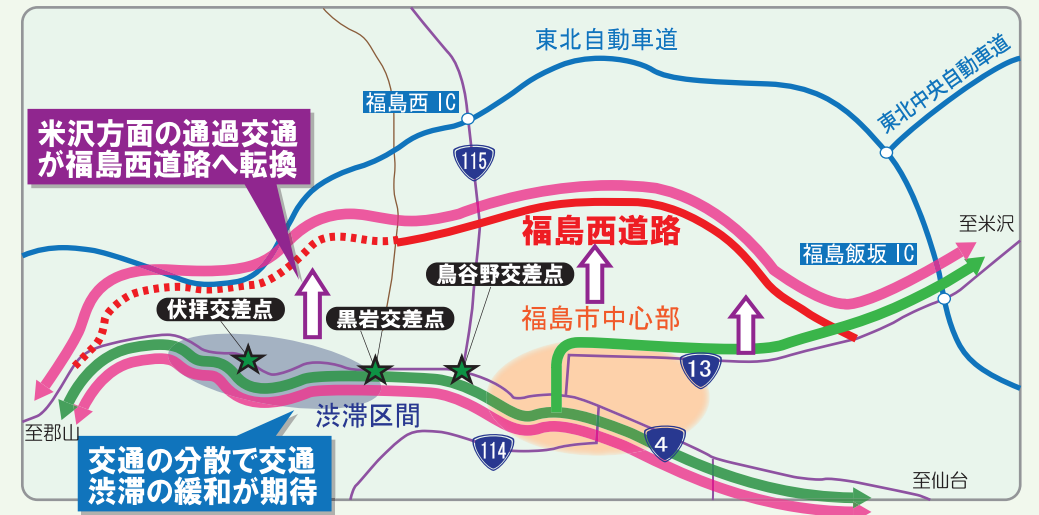
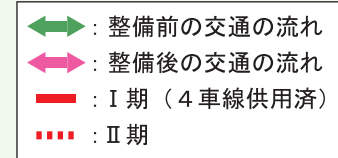


Ⅱ期整備効果 福島西道路はこれからますます便利になります！

環状道路としての機能を一層発揮するため、南へ事業を延伸し、より便利なものとしします。

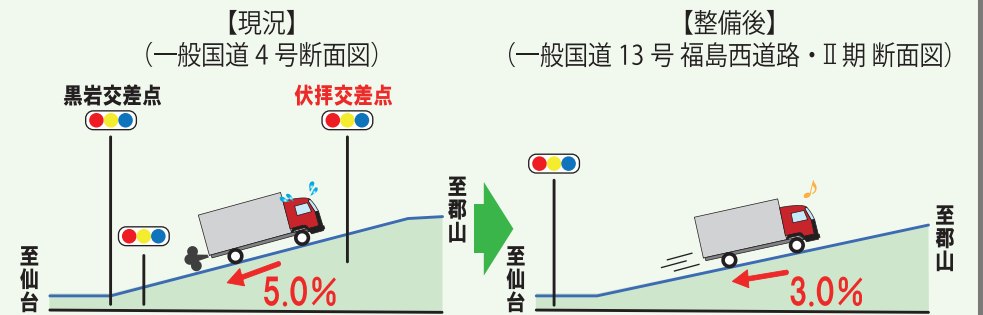
効果1 交通の分散により交通渋滞を緩和

- 福島西道路Ⅱ期区間が整備されると、交通が集中していた一般国道4号の交通の分散が図られ、一般国道4号の交通渋滞の緩和が期待されます。



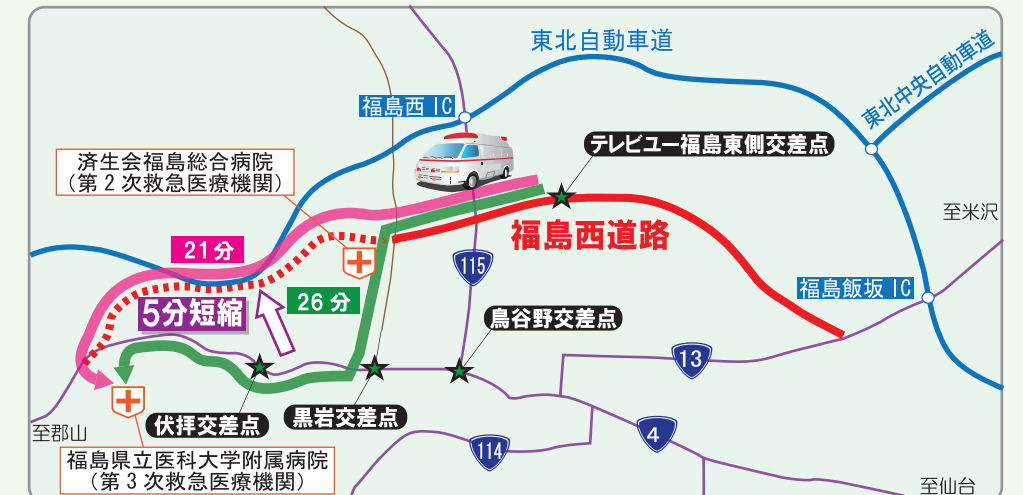
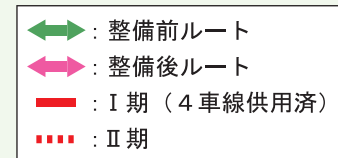
効果2 交通事故や冬期スタックの減少

- 福島西道路Ⅱ期区間が整備されると、急勾配区間で交通事故・冬期スタックが多発している一般国道4号現道部を回避できる緩勾配のトンネル区間を含む新たなルートが形成され、交通事故・冬期スタックの減少が期待されます。

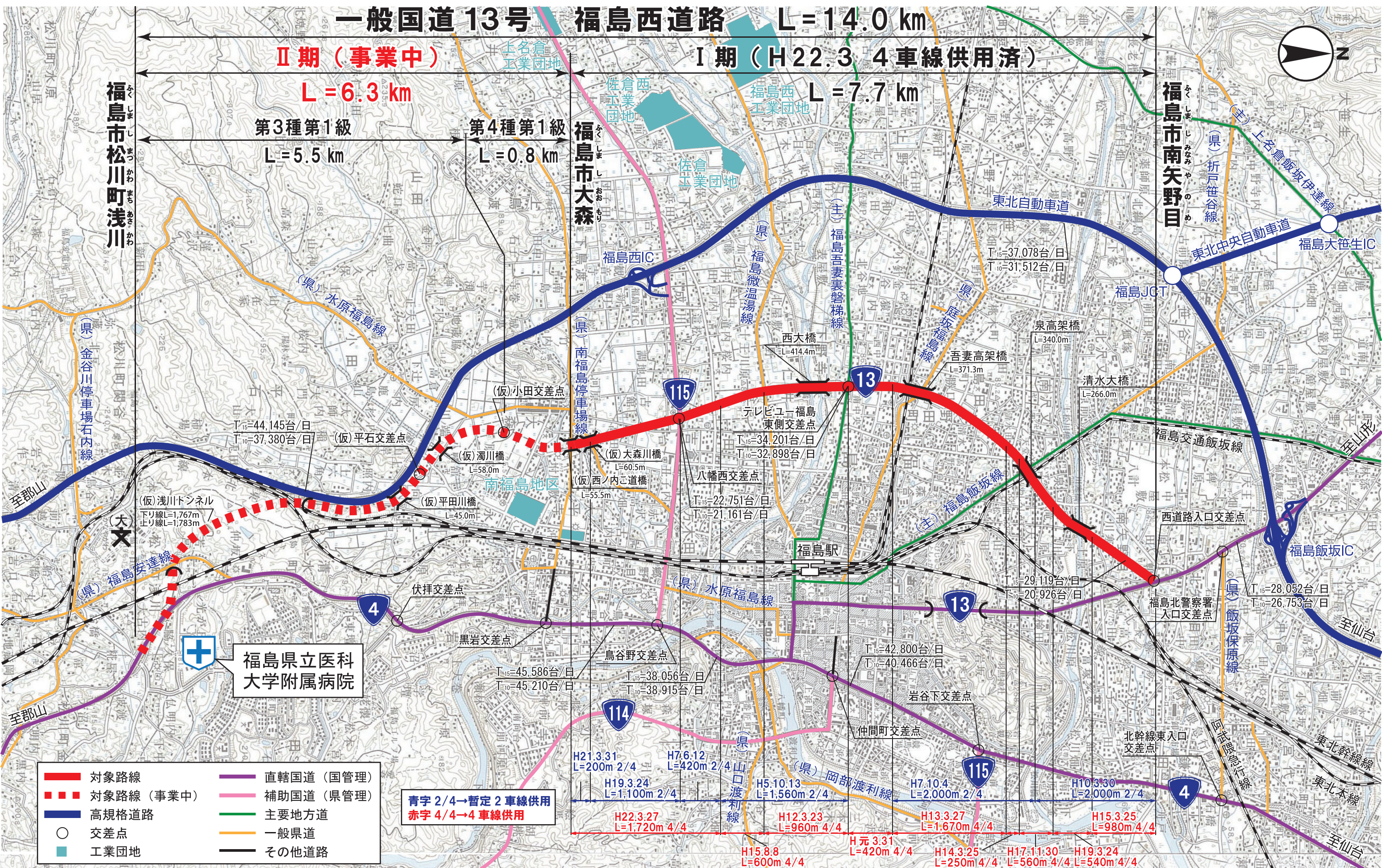


効果3 高次救急医療サービスの支援

- 福島西道路Ⅱ期区間が整備されると、第3次救急医療機関である福島県立医科大学附属病院等へのアクセス性が向上し、救命率の向上につながります。



福島都市圏の交通円滑化を促す福島西道路



福島西道路（I期）は活力ある地域づくりを実現しています！

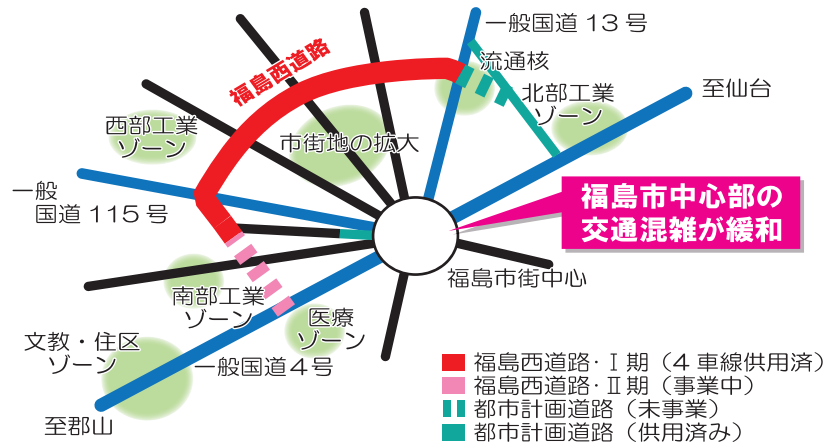
1 環状道路としてのネットワークを形成しています。

●交通渋滞の緩和

市内の放射状の幹線を環状につなぐことにより、幹線道路ネットワークとして効果が得られ、福島市中心部の交通混雑の緩和が図られています。

●走行時間の短縮

立体交差化し、信号交差点を少なくすることにより、通勤、通学、買物等の所要時間が短くなりました。



2 都市の環境づくりの要として様々なニーズに応えています。

●環境施設帯による空間の確保

両側に幅10mの環境施設帯を設け、植樹帯、歩道を設置し、良好な生活環境を確保するとともに、ランドマークとなる植栽を行い、四季の移ろいを感じられる空間を形成しています。

●都市生活の安全向上

地震、災害時は植樹帯、歩道等が延焼防止や緊急避難場所にもなり、防災機能を備えた道路を形成しています。



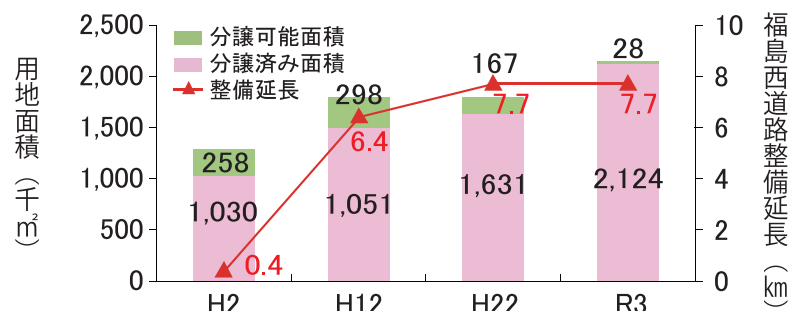
3 福島西部地区のまちづくりの軸として発展を推進しました。

●土地の有効利用

沿線に小売店舗が進出し、新たな買物拠点地として、土地が有効利用されています。

●産業振興

街づくりの骨格道路として、また福島市西部地区発展の軸として、工業立地の分譲が進んでいます。

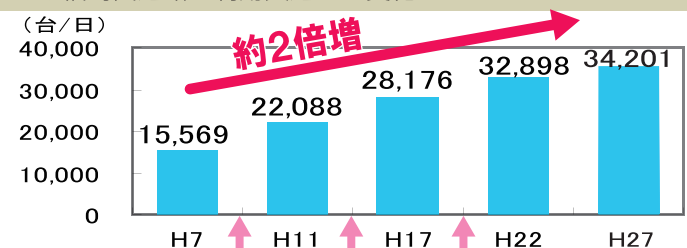


福島西道路はたくさんの方々に利用されています。

福島西道路が延伸し、その利便性が向上するにつれて福島西道路の利用交通量は年々増加しています。

福島西道路（I期）が全線4車線供用した平成22年においては、平成7年の約2倍となっており、環状道路としての機能を発揮しています。

▼福島西道路の利用交通量の変化（テレビュー福島東側交差点）

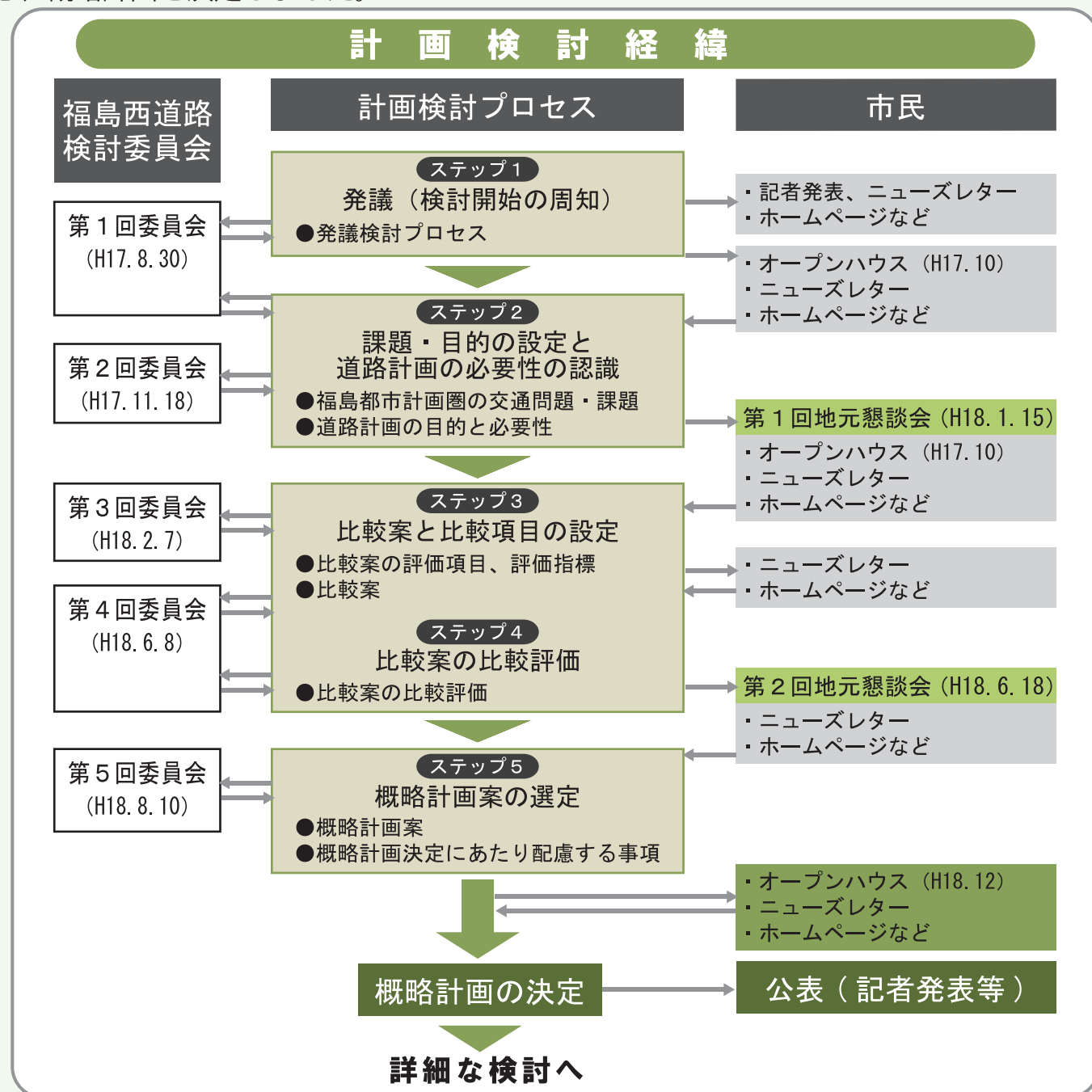


平成9年3月 国道115号～国道13号暫定供用（6.4km）
 平成12年3月～平成15年8月 一部4車線供用（4.46km）
 平成22年3月 福島西道路（I期）全線4車線供用（7.7km）
 出典：道路交通センサス（H11,H17,H22,H27）交通量調査（H7）

住民の方々の合意を得るための取り組み

福島西道路II期区間の検討では、事業の透明性、公平性を確保し、市民の方々の理解と協力を得るため、市民参加型の道路計画を導入し、概略計画の検討を行いました。

計画の構想段階から、市民の方々に情報を提供して広く意見を頂き、その意見を計画に反映するとともに、学識経験者等で構成される福島西道路検討委員会から意見・助言を頂き、概略計画を決定しました。



お問合せは



国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

〒960-8584 福島市黒岩字榎平 36 TEL(024)546-4331(代表) ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>